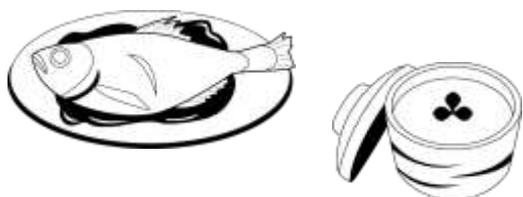


「食の文化ライブラリー」の 見学と、経験を聞く会



多摩デポは、図書館蔵書を共同保存し利用が続けられることを目的に活動しています。さて図書館の現場には、保存の大事さは分かるが、実用書も同じように残さなければいけないか？という議論があります。学術書や教養書でなく、流行や時事性もある生活関連書の古くなったものはどういう利用が考えられるのだろう、書庫もきついしなあ、といった疑問です。

そこで実用書も範囲としている専門図書館を見学し、蔵書や整理・保存の事情、利用者の様子やレファレンスの経験などを聞く会を開こうと考えました。公共図書館と類似の資料がどう維持され、活用されているのでしょうか？

実用書もさまざまですが、東京には「旅」「化粧」「広告」などを専門とする図書館があり一般公開され、どれも面白いものです。今回は港区の「食の文化ライブラリー」を訪ねます。味の素グループが 1991 年に開館し、食文化を中心に、食材・料理・食生活などの資料を集める図書館。大半が開架で、館外貸出もしています。

学術資料もありますが、身近な図書館でも扱う実用的な本・雑誌をきちんと整理、保存を続けたらどうなるか想像を刺激されます。見学と併せ、この図書館の経験を話してもらえることになりました。ご一緒に行きませんか。

日時：3月19日（月）午後1時30分

地下鉄都営浅草線 高輪台駅改札集合 図書館へは徒歩3分

会場：食の文化ライブラリー

港区高輪3の13の65 味の素グループ高輪研修センター内

(先に図書館に行っていることも可。午後2時から別室で説明を聞きます)

参加費無料：（会員外でも、どなたでも参加できます）

申し込み：参加者を把握したいので、なるべく3月15日までに、

E-mail か FAX でお申し込み下さい。

主催：特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

● E-Mail : depo_tama@yahoo.co.jp

● FAX : 042-484-3945

